

ちえのわ

No.79 (2017 年 8 月)

【編集・発行】 清瀬市消費生活センター運営委員会、清瀬市消費生活センター
【問い合わせ】 清瀬市消費生活センター (電話) 042 (495) 6211

第38回 消費生活展を開催します

今回のテーマは「表示あれこれ」です！センター登録団体等によるイベントや活動報告などを行います。どうぞご来場ください。

【日時】 平成29年10月15日(日) 午前10時～午後4時

【場所】 清瀬市消費生活センター

電話によるオレオレ詐欺・還付金詐欺・消費者被害等の未然防止に！

**自動通話録音機の無料貸出を
8月1日から行っています**

【対象世帯】

清瀬市内に住所を有する65歳以上の方が居住する世帯。ただし、すでに同様の通話録音機が設置されている世帯は除きます。

【貸出台数】

100台(申込み先着順)

※1世帯につき1台まで。予定台数に達した時点で終了になります。

【申請方法や在庫確認については…】

総務部防災防犯課(電話) 042-497-1847
または消費生活センター 042-495-6211 まで
お問い合わせください。



消費生活センター施設貸出中止のお知らせ

施設の空調機の故障のため当面の間、施設貸出を中止いたします。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

【対象施設名】 消費生活センター

【対象施設内容】 会議室1・会議室2・集会室・テスト兼調理室

【期間】 未定

すでに対象施設の使用料を入金されている場合は返金いたしますので、消費生活センターまでご連絡ください。なお、貸出再開については、市報きよせや市ホームページでお知らせします。

知っておきたい終活シリーズ

どうしますか？

実家の片づけ



1 あなたの実家は大丈夫ですか？

実家の片づけについて「うちの親は元気だから、まだまだ大丈夫！」と思っている方は多いと思います。でも親が突然の病気や介護で施設に入ったり、亡くなった時にすみやかに片づけることができますか？

実家の片づけは大きく分けると「生前整理」と「遺品整理」があります。生前整理は遺品整理と違い、親の意思がわかるため「いる物・いない物」の区別がつきやすいメリットがあります。しかし、親が活着ているうちにやっておいた方が良く思ひながら後回しにしている人が大多数でしょう。親が元氣なうちにコミュニケーションをとりながら、親の気持ちに配慮して一緒に片づけを行ってみたいかがでしょうか。

片づけを始めるにあたり、いきなり親に向かって「家を生前整理しよう」だとか「これは捨てた方が良く」などと切り出しては、対立する恐れがあります。子どもから見たら、不用なものでも、親にとっては絶対に処分したくないものもあるのです。そのことを理解して「実家の片づけ」を始めてみませんか。

2 片づけを始めるタイミング

片づけを始めるタイミングの目安は「定年などで親の生活が変化した時」です。また、次の点も注意深くみてください。

- (1) 冷蔵庫を覗いてみてください。賞味期限切れの食品が多くなっていますか？
- (2) 趣味や好きなことをしなくなっていますか？
- (3) いつも片付いていたのに、物を出しっぱなしにしていますか？
- (4) 物をまとめ買いして、床置きになっているものが増えていませんか？

当てはまることが多い場合、時間が経つほど、片づけは難しくなります。早めに親に片づけを提案しましょう。

3 片づけが必要な場所・物

いざ、片づけを始めようと思っても必要な場所がたくさんあります。外回り、玄関、廊下、階段、トイレ、低いところ、高いところ、寝室、キッチン、リビング、クローゼット・押入れ、衣類、バッグ、アルバム、本、趣味の品、書類、貴重品などです。また、捨ててよいか迷ったときのため、一時保管できる場所を確保しましょう。

4 片づけを通じて

実際に実家の片づけを始めると、親と意見が対立したり、喧嘩をすることもあります。でも、成人すると親と口論することもほとんどないではありませんか？それどころか、親と言葉を交わすこともなく、話しかけに生返事をしているだけではないですか。それだけ、親子のコミュニケーションが減ってしまっているのです。これを機会に「実家の片づけ」を通じて親と触れ合う時間を作ってみてはいかがでしょうか。

5 センターからのお知らせ

今回の記事については、一般社団法人「実家片づけ整理協会」代表理事の渡部亜矢（わたなべ あや）さんの著書『「5つの鉄則」でラクラク！実家の片づけパーフェクトBOOK』（光文社刊）を参考にさせていただきました。

消費生活センターでは、10月27日（金）に消費生活講座「どうしますか？実家の片づけ」（仮題）の開催を予定しています。

上記の図書のほか、数々の図書、雑誌やテレビでおなじみの渡部亜矢さんを講師にお迎えする予定です。参加費は無料です。申込みなどの詳しい情報については「市報きよせ」でお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。



『実家片づけ整理協会』のホームページに診断チェックがありました。みなさんもチェックされてはいかがでしょうか。

「片づかない人 VS. 片づく人」10の診断チェック

片づく人	片づかない人
捨ててもいい理由探しをする。	捨てなくてもいい理由探しをする。
服の数をほぼ言える	服の数がわからない
将来、楽するために、工夫をする	今、楽なことをする。
約束を守る方法を考える	約束をキャンセルする理屈を考える
人の話を聴こうとする	自分のことを話そうとする。
まず地図で方向をつかもうとする	目の前の人に道を聞こうとする
能動態で考える	受身態で考える
片づけは行動に移すのが難しいことだと知っている	片づけは誰でもできることだと思っている
自分や家族も同じように年をとっていくことだと、わかっている	自分だけはまだ若いと、どこかで思っている
早めに実家を片づけないと、自分が困ることを知っている	親が亡くなってから実家を片づければ良いと思っている

消費生活相談の現場から

本当に必要？ 契約は慎重に

高齢者のスマートフォン



【相談事例】

長くガラケーとよばれる携帯電話を利用してきたが、スマートフォンに興味があったので、携帯電話販売店を覗いてみた。対応してくれたお店の人は立て板に水のごとく話をしてきた。内容はよくわからなかったが、うんうんうなずいているうちに申込み完了になってしまった。購入したスマートフォンを持ち帰ったが、いままでの携帯電話とは全然違うので使いこなせない。

【消費生活相談員からのアドバイス】

ご高齢の方でもスマートフォンを使いこなしている方はたくさんいらっしゃいます。しかし、いままでのガラケーとよばれる携帯電話でメールと通話のみを利用していた方がスマートフォンを使いこなすのは容易ではありません。なんとなく「購入してもいいかな」というような気持ちで販売店に行くことはお勧めできません。販売店の店員は販売台数をあげることを重要視しています。操作についての理解度を個別に配慮してもらうことは難しいでしょう。

実際にスマートフォンを購入されるにあたっては、何をしたいのかをよく考え、できればスマートフォンに詳しい人に販売店へ同行してもらいましょう。

なお、契約に際して説明が不十分だったり、電波状況が悪かった場合は「確認措置（8日間キャンセル期間）」が設けられています。



清瀬市消費生活センター

(相談専用電話) **042-495-6212**

消費生活に関するトラブルや疑問など
困ったときには、気軽にご相談ください(無料)

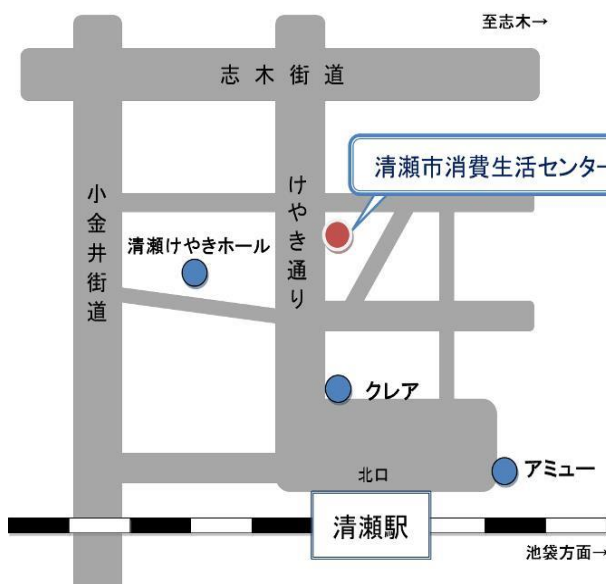


【相談時間】 月～金曜日（祝日・年末年始を除く）
午前10時～午後4時（正午～午後1時を除く）

【住 所】 清瀬市元町1-4-17

【事務局】（電話）042-495-6211

※「ちえのわ」の音訳CDを製作しています。
ご希望の方はご連絡下さい。



使用済み小型家電回収ボックスがあります。対象は20品目です。